3　資金不足比率の状況

（単位：％）

年度／資金不足比率	計画初年度の前年度	平成21年度（計画初年度）		平成22年度（第２年度）		平成23年度（第３年度）		平成24年度（第４年度）		平成25年度（第５年度）		平成26年度（第６年度）		平成27年度（第７年度）		平成28年度（第８年度）		平成29年度（第９年度）	平成30年度（第10年度）
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	133.5	126.8	114.5	125.7	76.2	114.0	57.8	96.9	31.9	73.6	24.4	66.6	14.8	41.5	—	20.7	—	24.7	—

備考　平成26年度以降は、資金不足比率が経営健全化基準の20％を下回っているが、平成29年度には一般会計補助金収入が大きく減少し、資金不足比率が再び20％を上回ることが見込まれるため、一般会計からの経営健全化対策出資金の繰り入れなしで安定的に資金不足比率が20％を下回る見通しが立つまで、引き続き、経営健全化団体として、計画に掲げる健全化の取組を推進する。

大阪府大阪市　自動車運送事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1　計画と具体的な措置の状況

1　計画収支との対比

・平成28年度の純損益は、計画584百万円の損失に対し、実績587百万円の利益となり、差引1,171百万円の収支好転となった。

・主な理由として、人員の縮減に伴う人件費の減（計画5,224百万円→実績4,613百万円）や、軽油単価の減による自動車燃料費など経費の減（計画7,314百万円→実績6,858百万円）によるものである。

・一方、単年度資金過不足額については、収益的収支の好転に伴い、計画額の3,049百万円の資金不足から1,042百万円改善し2,007百万円の資金不足となった。

・この結果、資金不足比率は、計画数値153.9％が7.7ポイント改善し146.2％となった。

2　民営化に向けた取組み

民営化（大阪シティバス株式会社への事業引継ぎ）に向けては、平成28年３月に「大阪市自動車運送事業の引継ぎに関する基本方針の策定について」が、平成29年３月には「大阪市交通事業の設置等に関する条例を廃止する条例」が議会にて可決された。現在、経営健全化計画のもと、平成30年４月の民営化に向け、鋭意、取り組んでいるところである。

2　資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分／年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成27年度）	平成28年度（第２年度）	平成29年度（第３年度）	平成30年度（第４年度）
当初計画　A		871,199	△　3,048,972	3,805,000	14,921,000
解消実績額　B		799,214	△　2,006,795	—	—
現在計画　C		799,214	△　2,006,795	3,805,000	14,921,000
B－A又はC－A		△　71,985	1,042,177	0	0
資金不足額	16,548,085	15,748,871	17,755,666	13,950,666	—

備考　「現在計画　C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。